

函 企 デ

令和5年(2023年)7月21日

総務常任委員会委員 各位

企 画 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記の資料を別添のとおり配付いたします。

記

- 1 陳内裕樹氏・小出泰久氏の函館市フェロー委嘱について

(企画部地域デジタル課 21-3622)

陳内裕樹氏・小出泰久氏の函館市フェロー委嘱について

1. 目的

本市のデジタル化を推進するための方向性を示すものとして、本年度中に函館市デジタル化推進ビジョンを策定することとしている。このような中、様々な自治体のDX政策を支援している陳内裕樹氏および小出泰久氏を函館市フェローとして委嘱し、ビジョンの実現に向けた取組等について、支援、助言を受ける。

2. 函館市フェローの委嘱について

(1) 函館市フェローとは

本市のデジタル化やDXの推進等について、専門的知識、経験に基づき、支援、助言を受ける。

(2) 委嘱期間

令和5年(2023年)7月21日から令和6年(2024年)3月31日まで
(再任可)

3. 略歴等

(1) 陳内 裕樹(じんない ひろき)氏

コミュニティデザイナー

東北芸術工科大学 客員教授

内閣府クールジャパン・プロデューサー

大手旅行会社にて市場開発、コンテンツ開発業務を歴任後、内閣府クールジャパン・プロデューサーとして中央省庁、地方公共団体等のデジタル変革を通じた地方創生とデジタル田園都市国家構想の推進を支援。その他、日本薬科大学特別招聘教授、早稲田大学招聘研究員、自治体国際化協会プロモーションアドバイザーとして、多くの自治体の政策参与・アドバイザーを務める。

(2) 小出 泰久(こいで やすひさ)氏

東北大学大学院 情報科学研究科 特任教授(客員)

大阪教育大学 客員教授

日系企業数社において、システムエンジニアやコンサルティング業務に従事。その後、複数の外資系大手IT企業で10年以上教育業界に携わる。教育DXや、子どもたちが将来働きたくなるような日本であるための日本社会全体のDXをライフワークに、経団連イノベーション委員会エドテック戦略検討会委員のほか、日本教育工学協会、一般社団法人日本教育情報化振興会、公益財団法人学習情報研究センターなど複数の理事を務める。